



令和4年9月
横浜市立恩田小学校
TEL (961) 7651
FAX (961) 6014



状況に応じて最適解を見つけられる子どもたちに！

校長 ほうらい きしこ
寶來 志子

6月の代表委員会で、とても素敵な光景に出会いました。上級生の意見を聞いて、「考えが変わりました。」と話す3年生がいたのです。その日の議題は「学校保健委員会のテーマを決めよう」でした。保健委員会の「恩田小学校のみんなの意見を取り入れ、学校全体で取り組む学校保健委員会にしたい」という思いから話し合われることになったのです。①病気に負けない体をつくろう②けがを防ごうのどちらかをテーマにしたいか、クラスで話し合ったことを持ち寄りました。

当日、6年生のあるクラスから新たな考え③けがと病気を防ごうが出されました。それぞれの理由を聞いてその場でどの考えがよいか判断することになりました。その時、3年生が「考えが変わりました。病気もけがもどちらも大切だと思います。」と発言したのです。自分のクラスの考えを発言するだけでなく、今の最適解を考えてそれを伝える3年生の姿がとても頼もしくみえました。話合いの結果、今年度は③けがと病気を防ごうで取り組むことになりました。

7月20日には、6年生が修学旅行の際、雨天でできなかったキャンプファイヤーを恩田小学校の校庭で行いました。保護者の方の感想の一部を紹介します。

「修学旅行で行えず残念だったことと思いますが、見ていて、実行委員の児童、先生が時間をかけて一生懸命に準備していたことがとても伝わってきました。子どもたちがとても楽しんでいる様子を見ることで、素敵な機会を作ってくれたことにとっても感謝しています。また、校庭でのキャンプファイヤーを提案してくださり、各方面への手続きや段取りにお骨折りくださった先生方、当日も学年以外の沢山の先生方がご協力くださったことと思います。実行委員の児童も先生と一緒に近隣にご挨拶に回ったと聞いております。本当に貴重な体験と思い出をありがとうございました。」

夏休み明けの授業が始まりました。コロナ禍で制約のある学校生活ではありますが、子どもたちが今の最適解を見つけられるよう、全教職員で子どもたちを支えていきたいと思っています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

